

はじめの一步は第1段階

知る

第1段階

2015.8/22(土)
～2015.10/25(日)

- 日々の暮らしのなかで、隣近所などの地域の人を気遣ったり、気の合う仲間と「集いの場」などの支え合いの活動を始めたり、自治会や町内会などの住民組織が自ら地域で必要な事業に取り組んだり、地域で繰り広げられる活動や事業には、さまざまな入り口と発展のカタチがあります。
- 関心はあるが一歩が踏み出せない、活動をどう始めたらよいかヒントを得たい、事業化の方法を知りたいという方々を対象に、全国各地の実践報告とその解説から、地域のなかで人と人がつながり合う活動と事業の実際を学ぶとともに、次なる一歩を踏み出すきっかけとすることを目的とします。

※第1段階は、ご希望の講座を複数受講いただくことができます。

オススメ!

体感する

現場視察

2015.9/26(土)～2015.9/27(日)

- 過疎化が進む、自然や生活条件の厳しい福島県の奥会津にある昭和村(人口1,365人(2015年5月1日現在)、高齢化率53.2%(2010年国勢調査))に、東日本大震災の被災地と共通した課題があります。条件不利地で営まれる住民主体の支え合い活動や、集落支援のしくみを現地で学びます。

※参加要件:第1段階の受講申し込みされた方(H26年度受講者を含む)

「思い」をカタチにしたい人は第2段階へGO!

学ぶ

第2段階

2015.10/31(土)
～2015.12/6(日)

- 第1段階を受講された方で、活動や事業を立ち上げたい方を対象に、地域の課題のを見つけ方や解決方法、活動や事業の立ち上げ方などを、グループワークをとおして学びます。各地で実践するリーダーの体験談やアドバイスを受けて、それぞれの「思い」をカタチにしていけることを目指します。

※各会場30人の定員です。第1段階を1回以上受講された方が対象となります。

考える

第3段階

2015.12/19(土)
～2016.1/24(日)

- 第2段階をもとに、活動や事業を立ち上げる際に役立つ知識を学びます。
- 事業計画書の書き方、プレゼンテーションの方法などを学びます。

※各会場30人の定員です。第2段階を受講された方が対象となります。

集う
つながる

第4段階

2015.9/13(日)
～2016.2/14(日)

- 県域(岩手県、宮城県、福島県)ごとに開催し、第3段階を受講された方が対象となります。受講者それぞれの活動を報告し合い、情報交換するとともに、課題解決や相互交流を図ります。

- ①H26年度講座修了者対象 2015.9/13(日)～2015.9/20(日)
- ②H27年度講座受講生対象 2016.1/31(日)～2016.2/14(日)

第5段階

2016.2/21(日)予定

- 第4段階までを修了された方が3県合同で集い、全国の先駆的实践者との交流などを通じて、さらに知見を広げるとともに、ネットワークづくりを進めます。前日には、同じ会場で開催予定のS-1グランプリ第3回いがす大賞にもぜひご参加ください。

立ち上げ支援講座第1段階 いわき会場

参加申込書

全国コミュニティライフサポートセンター

FAX 022-727-8737

住み慣れた地域で暮らし続けるための支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の立ち上げ支援講座

フリガナ 氏 名				性別	男 ・ 女
住 所	講座に関するお知らせなど、郵送物の送付先 〒 上記住所は、 自宅 ・ 職場 ←いずれかに○印を付けてください。				
連絡先 TEL		FAX			
メールアドレス					
所 属		職名			
現在の活動、 ご希望など	取り組みたいこと、または関心のあることを簡単にお知らせください。 現在活動されている方は、内容を簡単にお知らせください。				

■ 参加申込みをされた方には、講座全体の開催要綱をお送りします。

住み慣れた地域で暮らし続けるための

支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の

立ち上げ支援講座

いわき会場

はじめの一步は、第1段階

ご近所で開く、お茶っ
こ会やサロンの始め方
をお伝えします！

高齢者が生きがいを感じな
がら介護予防にもなる活動
や事業を立ち上げるには？

災害公営住宅で
助け合い活動を
起すにはどうし
たらいい？

「地域創生」「総合事業」を
考えるきっかけがつかめます！

東北地方の支え合い
活動を、たくさん紹
介します。

開催日時 2015年10月15日(木) 13:00~16:30
会場 いわき市社会福祉センター／5F大会議室
定員 50人

／ 活動者から学ぶ ／

実践報告

1

野尻宮農生産組合（福島県昭和村）

昭和村野尻地区の住民有志が、耕作放棄地の利活用や景観整備などを目的に設立。2009年から耕作放棄地などに菜の花を植え、毎年5月半ばごろには、美しい花畑の風景が楽しめるようになった。菜種油はドレッシングに加工、村の道の駅やイベントで販売する。姉妹都市・埼玉県草加市の小学生の体験学習（大根栽培など）や、昭和村に拠点を置く特定非営利活動法人芋麻倶楽部と連携した国際ワークキャンプ（合宿型ボランティア）の受け入れも行っている。

実践報告

2

特定非営利活動法人グループゆう（宮城県仙台市泉区）

“あったらいいなサービスづくり”から、どんなハンディキャップを持っていても地域で安心して住むことのできる共生の地域づくりを目的に、1995年発足（2000年NPO法人化）。配食サービスから始まり、在宅介護サービス、障害児の放課後・長期・緊急サービス、未就学児・母子通園事業、就労支援事業を実施。

事業目的

馴染みのある人たちとともに、住み慣れた地域で暮らし続けるために、見守りやサロンなどの「支え合い活動」や、有償の支援サービスや介護保険のサービス、お店や移動販売などの「生活支援サービス事業」を、住民自らが立ち上げ、住民が主役の地域コミュニティづくりを支援することを目的に開催します。

どなたでも受講いただけます。

全講座受講無料

※第2段階の宿泊費・交流会費は、実費をご負担いただきます。

受講締切

受講を希望される第1段階の講座の
開催日 10 日前まで

別紙申込書によるFAX、または電話で
お申し込みください。

※締切が過ぎても定員に満たない場合、申込を受け付けます。主催事務局までお問い合わせください。

主催 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

後援 福島県・いわき市・社会福祉法人福島県社会福祉協議会・社会福祉法人いわき市社会福祉協議会